

# 平成 22 年度 第 1 回事例検討・報告会発表者募集

( 現職者共通研修 「事例報告」 )

ご案内が遅くなりましたが、今年度 1 回目の事例検討・報告会を開催します。発表者を募集します。本会での発表は日本作業療法士協会生涯教育制度、現職者共通研修 「事例報告」に該当します。

発表を希望される方は、下記 ~ を明記して、メールにて 8 月 13 日(金)までに、教育部土田(沖縄リハビリテーションセンター病院)までお申し込みください。

会員番号

氏名

所属施設名

今年度協会・県土会費の納入を確認して「会費納入済み」の一文

演題タイトル(仮)

発表事例の主な診断名

発表事例の主な症状

(例:麻痺、筋力低下、注意障害、対人交流技能の低下、耐久性の低下、易怒的、異食など)

報告の主なポイント(複数可。例:例:身体機能の改善の練習方法、ADL 動作の獲得練習方法、退院調整の工夫、福祉用具の導入、職業適応訓練、 に対する治療、家族の教育と支援 など)

上記情報は、アドバイザーの選定の参考に使います。現時点で書ける範囲のご記載を願います。その他連絡事項がありましたらその旨お書き添えください。発表の詳細は下記をご参照ください。

申し込み先メールアドレス: okiotakyouiku@yahoo.co.jp (携帯からも可です)

## 記

1、開催日:平成 22 年 9 月 12 日(日) 9:00 - (3 時間程度の予定)

講師の都合や発表人数により変更の可能性もあります。

2、会場:沖縄リハビリテーション福祉学院(与那原町字板良敷)を予定しています

(正式決定後、応募者に通知するとともに、事例検討参加者を募る参加案内には明記いたします)

3、レジュメの提出期限は 9 月 6 日(月)といたします。提出方法は申込者に改めて通知いたします。

レジュメの書式、発表方法などは案内 2 枚目をご参照ください。

4、受講料 事例検討のみ(聴講のみ):1,000 円、事例検討と事例報告(聴講と発表):2,000 円、事例報告のみ(発表のみ):1,000 円、現職者研修の認定とは関係なく受講:500 円(資料代)

5、事例検討参加者(現職者共通研修 「事例検討」)の募集は、後日参加案内をお送りします。なお、発表者も他の発表者の討議に参加することで「事例検討」の受講認定が得られます。

問い合わせ先:(社)沖縄県作業療法士会教育部 土田真也(沖縄リハビリテーションセンター病院)

基本はメールをご利用ください E-mail: okiotakyouiku@yahoo.co.jp (携帯からも可)

## 事例報告の内容

(発表の場合)

レジュメ	発表機材	発表時間
内容は以下のとおりとします。 【報告の目的】200字以内 【事例紹介】400字以内 【作業療法評価】600字以内 【介入の基本方針】200字以内 【作業療法実施計画】600字以内 【介入経過】800字以内 【結果】500字以内 【考察】700字以内。 フォント・段組等の規定はありません。用紙はA4を用いてください。	機材使用なし レジュメのみで発表します	発表10分、質疑応答・アドバイ ス20～30分 応募演題数に合わせて、 アドバイス時間は調整いた します。 (レジュメの全文字数を 読み上げると時間がない 場合は、割愛しながら発表 してください)

レジュメの書式は「日本作業療法士協会事例報告登録制度」になっています。各項目でどのような内容を記載するのかについては、日本作業療法士協会のホームページから、事例報告登録制度の項目をご参照ください。

なお、対象者から同制度の同意書を頂いておくと、上記事例検討が終了後、文章を修正し、同登録にスムーズにつながられます(今年から、パワーポイント等を用いた発表をなくし、上記書式での発表にしたのは、この目的によります)。